



臨床研修センターだより

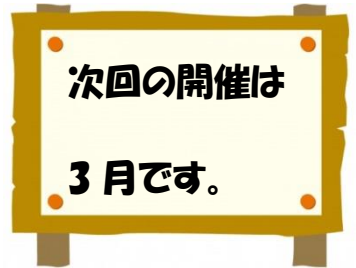
Vol.59 2019.1.31

●医学生向け冬の病院見学プログラム

12月25日～26日の2日間、病院見学プログラムを開催しました。関西を中心に9名の学生の参加がありました。9名とも大学は違ったのですが、男女比も5:4で打ち解けるのも早く、終始和気あいあいとした雰囲気でした。

参加申し込み時に2日目の見学診療科の希望を第3希望まで聞いているのですが、それに加えて今回初の試みとして「見学の目的」も事前に調査し、見学診療科を決定しました。例えば、研修医の働く様子が知りたいと思った学生は、研修医がローテートしている診療科にする、見学希望診療科の症例が見たい学生は、第一希望の診療科にする・・・など、学生のニーズに合わせた割り振りを行いました。今回のアンケートでは、今までの中で一番評価が良かった印象です。(5段階評価でほとんどの項目が5の評価でした)

今後も良い所は残し、悪い所は改善し、学生の満足度が高くなるようなプログラムを提供し続けたいと思います。ご協力いただいた臨床研修センタースタッフおよび初期研修医の先生方ありがとうございました。



●研修評価懇話会「熱く語ろう研修評価 これでもいい?これがいい!」

1月9日、研修評価懇話会が開催されました。初期研修医の研修評価を主なテーマとし、講演および総合討論が行われました。アメリカと日本の研修評価制度の現状を知るとともに、当院の研修評価制度をどのようにすれば良いものになるのか、また研修医はどのような点を評価されたいと思っているのかを共有出来る内容でした。

- 1 米国における臨床教育～麻酔科を例に日本への応用を考える (麻酔科 柚木医師)
- 2 研修医評価について現在医学教育分野で語られていること (総合内科 金森医師)
- 3 総合討論 (西岡教育部長 柚木医師 金森医師 進藤医師 上田研修医 岡崎看護副部長)



現行の研修評価について研修医代表として意見を述べさせていただきました。第一回ということもあり当初はあまりイメージが湧きませんでした。柚木先生、金森先生の講義、その後のdiscussionを経て現行の評価制度の問題点が共有できたと思います。今後も改善すべき点が多々出てくると思うので、定期的に話し合いの場を設ける必要があると感じました。今回の内容を踏まえて研修医の中でも意見を募り、より良い評価制度になればと思います。(2年次 上田)

●2019年度オリエンテーション打ち合わせ

来年度のオリエンテーションの打ち合わせを行いました。統括の臨床研修センタースタッフ栗林先生、1年次の代表6名の先生が集まり、今年度オリエンテーションを受けてどうだったか、改善すべき点やオリエンテーションで学んでおいた方がよい点などを話し合いました。代表の6名の先生方にコメントを頂きましたのでご紹介します。



★オリエンテーションを通して、少しでもスムーズに仕事にとりかかれるよう手伝うことが出来れば幸いです。(井手) ★1つ下の学年が初期研修を始める上で、少しでも役立てたらと思います。(岡嶋) ★後輩たちに少しでも役に立てるよう学びの多い楽しい一週間を目指して頑張ります。(曾根) ★新1年次の皆さんが、できるだけスムーズに研修生活を始められるよう、協力して取り組みたいと思います。(永山) ★去年のオリエンテーションはとてもためになりました。今年も役に立つオリエンテーションを目指します。(福見) ★新1年目の方たちにとってより良い1週間になるように皆でしっかり準備をしたいと思います。(山本)

●初期研修を振り返って 前編

早いもので2017年度に採用された研修医の先生方の2年間の研修も残りわずかとなりました。「初期研修を振り返って、来年度に向けての抱負」をテーマに2年次の先生方にコメントをいただきましたので、今月・来月と2ヶ月にわたってご紹介します。

2年間でたくさんの医師および他職種の方々にお世話になりました。来年度からは別の病院で働きますが、今まで教えて頂いたことを活かし、患者さんにとって良い医者になれるよう頑張りたいと思います。(相原)

振り返るとあっという間の2年間でしたが、各診療科でたくさんのことを学ばせていただきました。この経験をいかして、来年度からは脳神経内科医として引き続き当院で研鑽を積んでいきたいと思っています。(乾)

同期や先輩、後輩に恵まれ、非常に充実した2年間を送ることができました。来年度からは消化器内科の専攻医としてお世話になります。精一杯頑張りますので引き続きよろしくお願いします。(上田)

初期研修においては様々な科をローテートさせて頂き、多くの症例を経験することが出来ました。来年からは当院の脳神経内科専攻医として研鑽を積んでいきたいと考えておりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。(片上)

素敵な仲間にもまれてとても楽しい2年間でした。これから人間関係を大切に頑張っていきたいです。(酒井)

★初期研修医期間は非常に充実した2年間を送る事ができ、来年度からは総合内科専攻医として当院で勤務します。要求される知識や技能、そして責任も増すのでプレッシャーはありますが、より一層精進してまいります。(前川)

たくさんの症例を経験でき、大変勉強になりました。4月から消化器内科医として、さらに精進していきたいです。(平井(達))

この2年間、上級医の先生方にたくさんのことを教えて頂きました。来年は当院の呼吸器内科に進むので初期研修で学んだことを活かしていきたいと思っています。(嶋田)

平素よりお世話になっております。研修開始当初はどのようなことかと不安でしたが、上級医や医療者そして同期の方々のおかげで無事に修了することができそうです。来年からは外科で専攻医となりますが、初期研修で外科以外を多くローテーションできたことはとても有意義だったように思います。4月からもよろしくお願いいたします。(高橋)

指導熱心な先生方や向上心のある仲間にもまれ、充実した研修が出来たと感じています。診療を行うための基本が学べました。来年以降の専門科でも活かせるよう努力していきます。来年度からは主治医になったりコンサルトされる立場になったりと、より責任が大きくなるのが、緊張でもあり楽しみです。(戸部)

2年間の研修過程の中で、病院歯科でしか経験することができない珍しい症例や手術、全身疾患を有する患者さんの歯科治療、麻酔科研修など色々なことを学ばせて頂きました。これらの貴重な経験を活かし、今後は歯科医師として更に歯科治療の知識や技術を学び、精進していきたいと思っています。(歯科・渡邊)